

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
C-141	C-152	23-410	独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 佐久間寛 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
題名 (原題/訳)			
Childhood adversities as specific contributors to the co-occurrence of posttraumatic stress and alcohol use disorders 心的外傷後ストレス障害 (PTSD) とアルコール使用障害の合併要因としての小児期逆境体験			
執筆者			
ario Müller, Caroline Vandeleur, Stephanie Rodgers, Wulf Rössler, Enrique Castela, Martin Preisig, Vladeta Ajdacic-Gross,			
掲載誌			
Alcohol Clin Exp Res, 41: 149-155. https://doi.org/10.1111/acer.13274			
キーワード			PMID
アルコール依存症、ACEs、小児期逆境体験、リスク、合併症			26163721
要 旨			
<p>アルコール使用障害 (AUD) は、心的外傷後ストレス障害 (PTSD) と併発することが多く、併発した状態は、アルコール使用障害を伴わない PTSD よりも重症であるという多くのエビデンスがある。しかし、PTSD を患う人々におけるアルコール使用障害 (AUD) 発症リスクに関して、幼少期の逆境の役割についてはほとんど知られていない。本研究の目的は、PTSD におけるアルコール使用障害 (AUD) 発症に、トラウマや幼少期の逆境体験が寄与しているかどうかを調査することである。PTSD 患者 140 人の大規模なコミュニティサンプルのうち、24 人 (17.14%) が PTSD 発症後に AUD と診断された。PTSD/AUD を併発している患者と PTSD のみの患者について、トラウマの種類や特徴、幼少期の逆境、精神疾患の併発について比較した。PTSD のみの場合と比較すると、PTSD/AUD は、特に 16 歳未満での性的虐待や児童養護施設での養育経験など、幼少期の逆境に関するストレスのレベルが高いことが分かった。PTSD/AUD は、逆境となる出来事が起こった年齢も早いことが分かった。AUD の治療には、特に幼少期に経験したトラウマに関する標準化された評価を含めるべきである。</p>			